

# 合志市地域公共交通計画

概要版



令和6年3月

熊本県合志市



## 1. 計画策定の背景・目的

合志市の公共交通は、高齢化の進展、人口増加や企業立地の影響による交通渋滞の深刻化等に伴い、市民等の移動手段としてますます重要性が高まっています。

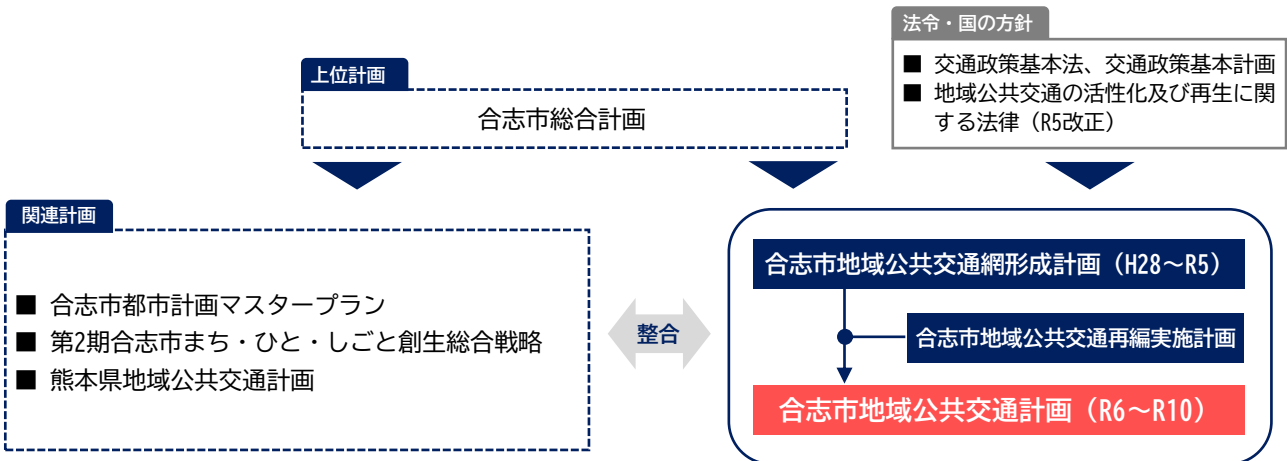
合志市の公共交通政策は、平成28年3月に策定、平成31年3月に変更をした、「合志市地域公共交通網形成計画」等に基づき推進していますが、令和6年3月に同計画の計画期間が終了するため計画の更新が必要です。

同計画の根拠法である「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」の令和2年の改正趣旨に基づき、市内外の移動がさらに円滑にできるよう、公共交通の効果的な活用及び利便性の向上を図り持続的に地域内外の移動手段を確保・充実するために、交通事業者や市民等の地域の関係者と協議しながら、地域にとって望ましい公共交通の姿を明らかにする地域公共交通のマスタープランとして、「合志市地域公共交通計画」を新たに策定します。

## 2. 計画の位置付け

本計画は、上位計画として合志市の最上位計画である「合志市総合計画 第3次基本構想 第1期基本計画」があり、合志市の将来都市像「人と地域が輝く未来へ ～健幸都市こうし～」に基づき計画の策定をしています。

また、「合志市都市計画マスタープラン」等の関連計画と整合を図りながら、法令・国の方針に準拠し、「合志市地域公共交通計画」を策定しています。



## 3. 計画の区域

計画の区域は、合志市域とします。

(但し、合志市近隣及び熊本都市圏を視野に入れた検討を行います。)



▲ 計画の区域

## 4. 計画の期間

計画の期間は、令和6年度から令和10年度までの5年間とします。

## 5. 計画の体系



施 策

施 策	取 組 内 容	実施主体		
		合志市	交通事業者	市民、企業等
施策 1-1	レターバス、乗合タクシー運行範囲の見直し 運行範囲の見直し <span style="background-color: #e0f0e0;">利便増進事業</span>	○	○	
施策 1-2	レターバス運行ルートの見直し 運行ルートの見直し <span style="background-color: #e0f0e0;">利便増進事業</span>	○	○	
施策 1-3	乗合タクシー運行体系の見直し 運行体系の見直し <span style="background-color: #e0f0e0;">利便増進事業</span>	○	○	
施策 1-4	広域交通の強化 高速バス路線と市内公共交通の結節機能強化	○	○	
	新たな高速バス路線整備の要望	○		

施 策	取 組 内 容	実施主体		
		合志市	交通事業者	市民、企業等
施策 2-1	乗継機能の強化 パークアンドライド駐車場の利用促進	○	○	
	サイクルアンドライド駐車場の利用促進	○	○	
施策 2-2	乗継拠点の整備 パークアンドライド駐車場の整備・確保	○	○	
	サイクルアンドライド駐車場の整備・確保	○	○	
施策 2-3	通勤ニーズへの対応 西合志高速バス停の広場整備の検討	○	○	
	御代志駅発のセミコン通勤バス導入の検討	○	○	○

施 策	取 組 内 容	実施主体		
		合志市	交通事業者	市民、企業等
施策 3-1	レターバス、乗合タクシー運行ダイヤの見直し レターバス運行ダイヤの見直し	○	○	
	乗合タクシー運行ダイヤの見直し	○	○	
施策 3-2	運行本数の最適化	鉄道の運行本数の最適化		○
		路線バスの運行本数の最適化		○
		レターバスの運行本数の最適化	○	○
		乗合タクシーの運行本数の最適化	○	○
施策 3-3	待合環境の整備	○	○	
施策 3-4	支払い方法の多様化		○	

施 策	取 組 内 容	実施主体		
		合志市	交通事業者	市民、企業等
施策 4-1	広報活動の強化	出前講座の実施	○	
		市民まつりでのブースの設置	○	
		乗り方教室、便利なツールの使い方教室の実施	○	○
		マイ時刻表の作成	○	
		ガイドマップの作成・配布	○	
		広報紙での利用促進案内	○	
		車内広告	○	○
		転入者への周知	○	
施策 4-2	地域内交通等の強化	福祉有償運送の利用促進	○	
施策 4-3	ニーズの把握	市民アンケート調査	○	
		利用者アンケート調査	○	○
		市民との意見交換会	○	
		各種団体へのニーズ調査	○	
施策 4-4	運転士の確保	交通事業者ヒアリング調査	○	
		第2種運転免許の取得費用の支援		○
施策 4-5	レターバス車両の更新	求人情報の紹介支援	○	
		ジャンボタクシー、タクシー車両の導入	○	
施策 4-6	レターバス、乗合タクシー運賃の見直し	EV車両導入	○	○
		運賃の見直しの検討	○	○
施策 4-7	定期券の導入	夏休み子ども定期券（キッズパス）への参入	○	○
		定期券の導入検討	○	○
施策 4-8	多様な収入手段の確保	車内広告	○	○
		音声広告	○	○

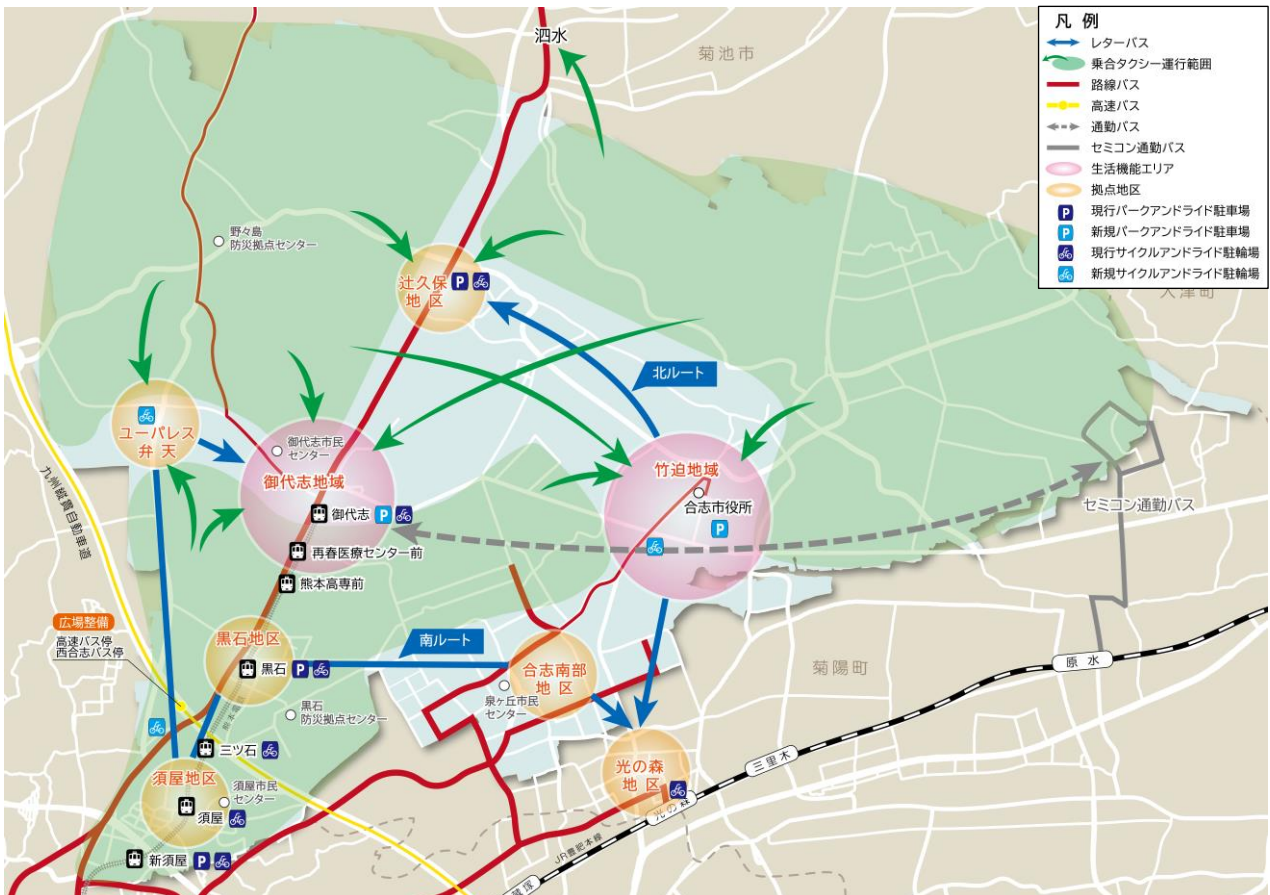
※利便増進事業に指定した施策は、法に基づき策定予定の地域公共交通利便増進実施計画にて運行路線・運賃・ダイヤ等の見直しを実施します。

## 6. 公共交通の将来構想

### 基本方針

### 利便性の高い公共交通網が構築されたまちの実現

- ・まちづくり政策との一体性確保による合志市の魅力向上
- ・市内外への移動が快適にできるよう、更なる利便性の向上
- ・市予算額や利用者負担額のあり方を踏まえ、適正な収支バランスを堅持した持続可能な運営



▲ 公共交通の将来構想

交通手段	位置づけ	役割
鉄道	広域幹線	合志市内または熊本市中心部への広域交通としての役割を担います。
路線バス		合志市内または熊本市、菊池市、菊陽町等の周辺市町との広域交通としての役割を担います。
高速バス		県外への広域交通としての役割を担います。
レターバス	地域内幹線	合志市内の拠点間の連絡、広域幹線への連絡を担います。
乗合タクシー	支線	合志市内の移動、広域幹線への連絡を担います。
セミコン通勤バス		セミコンテクノパークの通勤交通としての役割を担います。
タクシー	その他	合志市内または周辺市町との移動手段として役割を担います。

▲ 交通手段別の位置づけと役割



## 7. 施策と成果指標

### 施策

### 目標① 利用者ニーズに応じた効率的な公共交通ネットワークの形成

#### 施策 1-1 レターバス、乗合タクシー運行範囲の見直し

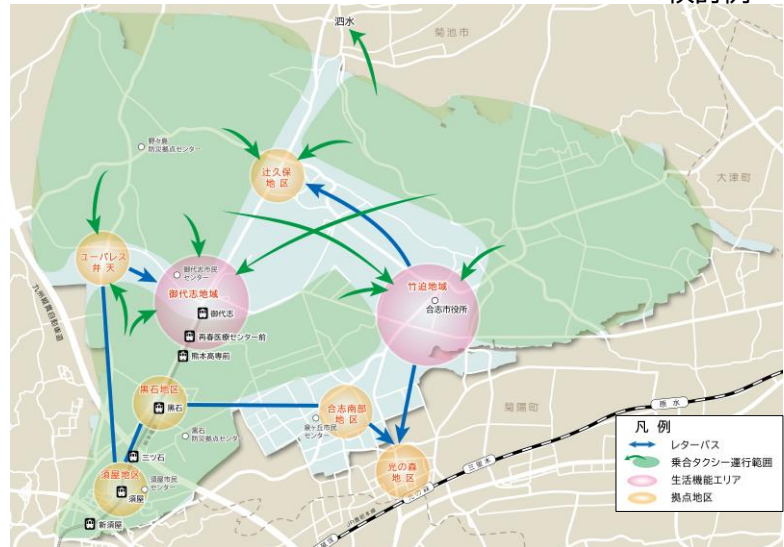
#### 施策 1-2 レターバス運行ルートの見直し

#### 施策 1-3 乗合タクシー運行体系の見直し

<見直しの方向性>

- ・レターバスと乗合タクシーの役割を明確化
- ・レターバスは、現行の利用状況、まちづくりとの連携、渋滞箇所の回避等を考慮した見直し
- ・乗合タクシーは、デマンド型への移行を視野に入れた運行体系の見直し

<検討例>



#### 施策 1-4 広域交通の強化

- 高速バス路線と市内公共交通の結節機能強化
- 新たな高速バス路線整備の要望



▲ 「西合志」バス停



▲ 「西合志」バス停の周辺状況

### 成果指標

評価指標 1	現況値 (R4 年度)	目標値 (R10 年度)
コミュニティ交通の利用者数	77,756 人	93,000 人

<目標値設定の考え方>

路線再編により、現況値よりも20%程度増加することを目指します。

評価指標 2	現況値 (R4 年度)	目標値 (R10 年度)
コミュニティ交通の収支率	8.5%	10.0%

<目標値設定の考え方>

路線再編による運行効率化と利用者増加により、収支率が10%まで改善することを目指します。

## 施策

## 目標② まちづくりと連携した交通拠点の強化

### 施策 2-1 乗継機能の強化

- パークアンドライド駐車場の利用促進
- サイクルアンドライド駐輪場の利用促進



▲ 黒石駅のP&R駐車場、C&R駐輪場

### 施策 2-2 乗継拠点の整備

- パークアンドライド駐車場の整備・確保
- サイクルアンドライド駐輪場の整備・確保
- 西合志高速バス停の広場整備の検討



▲ 新須屋駅のP&R駐車場

### 施策 2-3 通勤ニーズへの対応

- 御代志駅発のセミコン通勤バス導入の検討



▲ セミコン通勤バスの例

## 成果指標

評価指標 3	現況値 (R4 年度)	目標値 (R10 年度)
公共交通を利用している市民の割合	3.6%	5.5%

### <目標値設定の考え方>

公共交通利用者数の目標値より、公共交通を週1回以上利用する人の割合が5.5%まで増加することを目指します。

評価指標 4	現況値 (R4 年度)	目標値 (R10 年度)
乗り継ぎが円滑にできている市民の割合	42.3%	60.0%

### <目標値設定の考え方>

レターバスや乗合タクシー、路線バスの路線再編により、不便な乗り継ぎ機会を減少させ、乗り継ぎの利便性向上を図ります。

評価指標 5			現況値 (R4 年度)	目標値 (R10 年度)
主要な駅・バス停の乗降者数	鉄道	御代志	205,132 人	219,700 人
	路線バス	御代志	71,867 人	95,000 人
	レターバス、 乗合タクシー	御代志	15,565 人	18,600 人
		アンビ-熊本	31,781 人	38,000 人

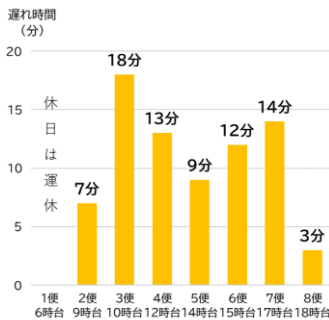
### <目標値設定の考え方>

鉄道、路線バスの利用者は御代志周辺の開発等を考慮し、鉄道が219,700人、路線バスが95,000人を目指し、レターバス、乗合タクシーは年間利用者数の現況値と目標値の比率より御代志では18,600人、アンビ-熊本では38,000人を目指します。

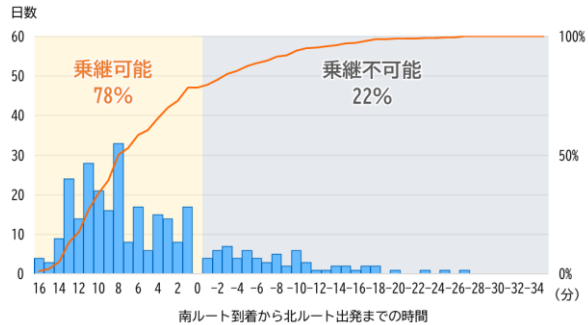


施策 3-1 レターバス、乗合タクシー運行ダイヤの見直し

- レターバス運行ダイヤの見直し
- 乗合タクシー運行ダイヤの見直し



▲ 南ルート アンビー熊本行き (休日) の遅れ時間



▲ 南ルート (アンビー熊本行き 2便) から北ルート (辻久保行き 3便) への乗り継ぎ

施策 3-2 運行本数の最適化

- 鉄道の運行本数の最適化
- 路線バスの運行本数の最適化
- レターバスの運行本数の最適化
- 乗合タクシーの運行本数の最適化

		運行本数			備考	
		平日	土	日		
鉄道	本線	上り	48本	42本	33本	金曜日は1便多い
		下り	47本	42本	31本	
路線バス	C1・C3	上り	41本	30本	26本	御代志の運行本数
		下り	37本	29本	26本	
	C5・C6 C7・C9	上り	63本	51本	45本	武蔵ヶ丘北口の運行本数
		下り	63本	49本	44本	
レターバス	中央ルート	5往復	5往復	5往復		
	南ルート	8往復	7往復	7往復		
	北ルート	8往復	7往復	7往復		
乗合タクシー	合生・上生線	4便	4便	-	火・木・土曜日のみ運行	
	合生・御代志線	4便	-	-	月・水・金曜日のみ運行	
	後川辺線	4便	4便	-	火・木・土曜日のみ運行	
	日向・新迫線	4便	-	-	月・水・金曜日のみ運行	
	須屋線	4便	4便	-	火・木・土曜日のみ運行	

▲ 現行の運行本数

施策 3-3 待合環境の整備

- 待合環境の整備

施策 3-4 支払い方法の多様化

- キャッシュレス決済の導入



▲ すずかけ台



▲ ICカード決済の例

成果指標

評価指標 6		現況値 (R4 年度)	目標値 (R10 年度)
レターバスの遅れ時間	中央ルート	3分	4分以内
	南ルート	8分	
	北ルート	2分	

<目標値設定の考え方>

路線・ダイヤの再編により、再編後の遅れ時間が、現行で最も遅延が深刻化している南ルートの遅れ時間の約半分にすることを目指します。

## 施策

## 目標④ 市民、事業者、行政が一体となって取り組む持続可能な公共交通体系の構築

### 施策 4-1 広報活動の強化

- 出前講座の実施
- 市民まつりでのブースの設置
- 乗り方教室、便利なツールの使い方教室の実施
- マイ時刻表の作成
- ガイドマップの作成・配布
- 広報紙での利用促進案内
- 車内広告
- 転入者への周知
- バス無料の日への参画



▲ バスの乗り方教室

### 施策 4-2 地域内交通等の強化

- 福祉有償運送の利用促進



▲ 福祉有償運送の利用状況

### 施策 4-3 ニーズの把握

- 市民アンケート調査
- 利用者アンケート調査
- 市民との意見交換会
- 各種団体へのニーズ調査
- 交通事業者ヒアリング調査



▲ 市民意識調査



▲ レターバス・乗合タクシーについてのアンケート

### 施策 4-4 運転士の確保

- 第2種運転免許の取得費用の支援
- 求人情報の紹介支援

### 施策 4-5 レターバス車両の更新

- ジャンボタクシー、タクシー車両の導入
- EV 車両導入

### 施策 4-6 レターバス、乗合タクシー運賃の見直し

- 運賃の見直しの検討

### 施策 4-7 定期券の導入

- 夏休み子ども定期券（キッズパス）への参入
- 定期券の導入検討

### 施策 4-8 多様な収入手段の確保

- 車内広告
- 音声広告



▲ 車内広告の例

## 成果指標

評価指標 7	現況値 (R4 年度)	目標値 (R10 年度)
市民 1 人当たりのコミュニティ交通運行委託料	1,706 円/人	1,700 円/人

### <目標値設定の考え方>

乗合タクシーのデマンド型への移行検討や路線再編で効率性・利便性を高める一方、財政負担は現行と同水準となることを目指します。



合志市地域公共交通計画  
概要版

令和6年3月  
熊本県合志市